

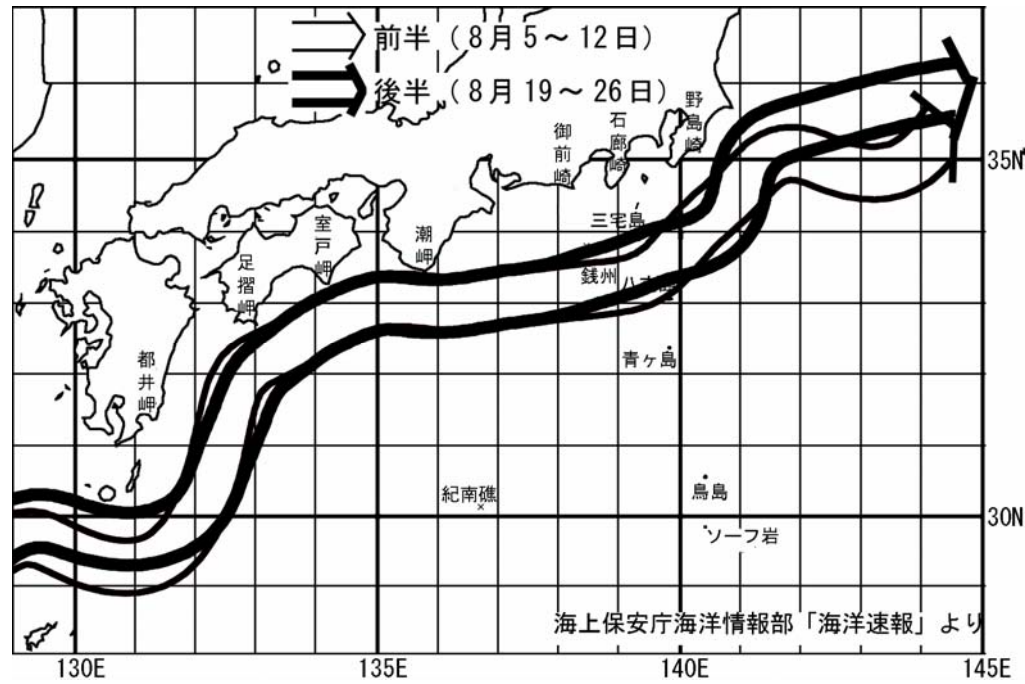
# 漁海況月報

平成24年 8月 1日

No. 8 ~8月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)

静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



## 【黒潮流路】

前半の黒潮は、都井岬～潮岬で接岸した後、遠州灘沖の33.5° Nを東進し、八丈島～三宅島の間を通過後、房総半島沖へ流れた。後半も、足摺岬～遠州灘沖で同様の流路であったが、伊豆諸島付近では前半よりも接岸傾向で流れた。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、上旬は「やや高め」～「きわめて高め」で、稲取、焼津、地頭方では平年比+2℃以上となった。中旬は概ね「やや高め」、下旬は概ね「やや高め」～「高め」となった。上旬の高水温は、暖水波及や高気温によるものと考えられた。

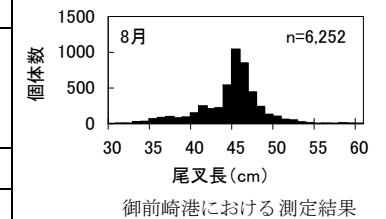
## 【竿釣近海カツオ】

県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は126トンで前年同期の98%であった。魚価は515円/kgで、前年同期を下回った。

静岡県近海では31°～33° N、139°～140° Eの八丈島からハロースにかけて、小（尾叉長46cmモード）、極小（41cmモード）、チン（37cmモード）カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量（近海・沿岸、県内主要5港）

期間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
24年8月上旬	40	18	2.2	593
中旬	26	9	2.9	529
下旬	60	25	2.4	457
24年8月計	126	52	2.4	515
23年8月計	128	42	3.0	530
22年8月計	115	54	2.1	336



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	25.5	26.0	25.5	26.0	26.1	27.5	28.4
	0.6	2.8	1.7	0.7	0.9	2.1	2.8
中旬	25.5	25.1	24.9	26.5	27.2	26.2	27.1
	0.3	1.0	0.6	0.8	1.5	0.6	1.1
下旬	26.2	26.1	25.9	26.2	27.5	26.7	28.1
	1.1	1.8	1.4	0.3	1.4	1.1	2.1
月	25.7	25.8	25.5	26.2	27.0	26.8	27.9
	0.7	1.9	1.3	0.6	1.3	1.2	2.0

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は270トンで、前年同期の同漁場の水揚量（248トン）の1.1倍、平年値（昭和57～平成23年）341トンの0.8倍となった。

魚種別では、①サバ類124.6トン②マルソウダ60.8トン③マアジ27.1トン④イナダ13.2トン⑤ヤマトカマス8.6トンの順に水揚げされた。

サバ類は尾叉長で24～37cmの大きさのゴマサバを主体に古網、北川漁場を中心に前年の1.5倍、平年の0.8倍の量が、マルソウダは尾叉長で20～30cmの大きさのものが北川、川奈漁場を中心に前年の6.1倍、平年の2.8倍の量が、マアジは尾叉長で17～30cmの大きさの1～3歳魚にジンダ（0歳魚）が混じる状態で赤沢、伊豆山漁場を中心に前年の1.0倍、平年の0.7倍の量が、それぞれ水揚げされた。

漁場別では、北川69トン（マルソウダ、サバ類、ウルメイワシ主体）、古網60トン（サバ類、イナダ、マアジ主体）、赤沢40トン（サバ類、マアジ、マルソウダ主体）の順に水揚げ量が多かった。

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
サバ類	124.6	1.5	0.8	古網、北川、赤沢
マルソウダ	60.8	6.1	2.8	北川、川奈、赤沢
マアジ	27.1	1.0	0.7	赤沢、伊豆山、富戸
イナダ	13.2	21.3	2.2	川奈、古網、伊豆山
ヤマトカマス	8.6	0.8	0.6	伊豆山、北川、古網

### [サバたもすくい・棒受網]

小川港には、棒受網によってゴマサバ621トン(前年同月比90%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量は31.0トン/隻(前年同月比108%)であった。平均単価は59円/kgで前月(62円)を下回ったが前年同月(51円)を上回った。

棒受網の漁場は、上旬と下旬は三本、三宅に、中旬は三本にゴマサバ主体で形成された。

ゴマサバは29cmモードの1歳魚(2011年級群)主体であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
24年8月上旬	0	265	4	9	0	29.5	0	60	汰 汰
中旬	0	160	2	5	0	32.0	0	58	汰
下旬	0	195	3	6	0	32.6	0	59	汰 汰
24年8月計	0	621	9	20	0	31.0	0	59	
23年8月	0	688	11	24	0	28.7	0	51	汰 汰 汰
22年8月	0	1,116	16	35	0	31.9	0	42	鵜 汰 汰

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

### [シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が718kg、遠州灘が761kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は744kgと前年同期(447kg)の166%、平年同期(過去5か年平均:392kg)の190%と前年同期、平年同期を大きく上回った。また、総水揚量は1,361.4トンで昨年同期(759.7トン)の179%、平年同期(780.8トン)の174%と、前年同期、平年同期を大きく上回った。平均単価は426円/kgと平年同期(640円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	103.7	11	142	730	368
舞 阪	385.3	11	520	741	403
福 田	240.1	11	294	817	431
御前崎	98.2	14	131	750	462
吉 田	275.0	16	370	743	411
静 岡	259.1	17	374	693	478
平成24年8月計	1,361.4	80	1,831	744	426
平成23年8月計	759.7	78	1,699	447	490
平成22年8月計	857.6	107	2,489	345	674

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

### [まき網]

小川港のマイワシの水揚げは0.02トンでほとんどなかった平年同期(19.5トン)。沼津港では、マイワシの水揚げは0.027トンでほとんどなく(平年同期55.2トン)、カタクチイワシの水揚げもなかった(平年同期の水揚げはなし)。静岡港ではマイワシの水揚げはなく(平年同期0.46トン)、カタクチイワシの水揚げもなかった(平年同期の水揚げもなし)。伊東港ではマイワシの水揚げはなかった(平年同期127.2トン)。

注)平年同期:過去5か年(2007~2011年)平均

### [調査船の動向]

駿 河 丸

8月 2日	～	8月 3日	地先定線観測	(2日間)
8月 6日	～	8月 7日	サクラエビ産卵調査	(2日間)
8月 8日	～	8月 9日	タチウオ調査	(2日間)
8月 17日	～		シラスカイト式ネット調査	(1日間)
8月 21日			一般公開	(1日間)
8月 22日		8月 23日	サクラエビ産卵調査	(2日間)
8月 28日	～	8月 29日	サバ標識調査	(2日間)
8月 30日	～	8月 31日	シラス・ハダカイワシ調査	(2日間)

### 静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と  
関東・東海海況速報を見ることができます。

